

第 35 回未来教室 杉並区立大宮小学校

1、学校名 杉並区立大宮小学校

杉並区堀之内 1-12-16 (Tel03-3313-2164)

校長 甚野 雄治

副校長 藤本 直子

2、主 催 杉並区立大宮小学校 (セーフティ教室)

3、実施期日 平成25年6月15日 (土) 体育館

1 時間目 (午前8時45分～) 1, 2年生合同

「～見えにくいところに気を付けて～」

授業者 横矢 真理 様

(特定非営利活動法人 子どもの危険回避研究所)

授業実施団体

読売防犯協力会

販売局販売企画調査部 地域貢献課 深川 猛

読売センター永福 所長 山川 伸一 様

2, 3 時間目 3, 4年生

「～ALSOK「あんしん教室」(安心してお留守番～)」

ALSOK (総合警備保障株式会社)

授業者 瀬戸拓郎 様 花田友子 様 警備スタッフ

5、当日の様子



杉並区立大宮小学校「未来教室」参観記

未来教室学校担当 高島信義

子ども達に事故が後を絶ちません。毎日のように痛ましい事故が報道されています。学校では、その対応のために、必須授業として「セーフティ教室」を行っています。子どもたちは、常に危険と隣り合わせにいます。それは、外だけではありません。家に中にもたくさん事故につながる可能性があります。そこには、保護者や学校も気付かないことがあります。それを補ってくれているのが各企業の貢献事業です。今回は、読売新聞、総合警備保障会社のアルソックの支援を受けて、セーフティ教室を開きました。

8時30分、1、2年生の子どもたちが体育館に集まってきました。事前に担任の先生から話があったらしく、興味深げに待っておりました。公開授業ということもあって保護者の皆様も待機しました。今日の講師は、新宿を中心に様々なところで活躍されている「子どもの危険回避研究所」の横矢 真理 さんです。慣れた口調で子供たちに語りかける様子は、「～見えにくいところに気を付けて～」の表題をパネルと一緒に子どもたちをどんどん話に引き込んでいきました。私たち参観者も、共に考える場を作ってくれるようでした。その多くの事例が、講師自らが足で集めたもので子供たちの身近な存在でした。例えば、公園の写真を見ながら、住宅街を見ながら、かくれんぼを引合いにだし「自分たちが隠れたいところは、怪しい人も隠れやすいところだよ」、「線路のそばは、電車が通るとその音で助けを呼んでも聞こえないよ」とか、普段私たちも見落としがちな事柄について子どもたちと会話しながら進んでいきました。また、危険防止のためにできる、地域住民の一人としての役割など、危険防止への関わり方の示唆もありました。

保護者の皆さんも、うなずきながら参加されていました。

注意事項を表す「いかのおすし」を確認し、自分たちも「安全マップ」を作ってみようとの呼びかけで

授業が終了しました。熱心に参加する、100人を超す子どもたちが、同じ思いで一つになったことを、その様子を見ながら確認しました。

杉並区立大宮小学校「未来教室」参観記

学校と企業との連携担当 池田利美

6月15日（土）杉並区立大宮小学校での未来教室を参観してきました。

3・4年生を対象にした総合警備保障（ALSOCK）さんの「あんしん教室」です。ALSOCK城西支社の花田友子さんの優しい口調で授業が始まります。

取り出した防犯ブザーを「ピピピピッー」、「どうしましたか？」と瀬戸隊長が猛ダッシュで登場、子供達はびっくりです。

今日のテーマは、「一人でおるすばん」、おるすばんする時に気を付けなければいけないことを皆で勉強しました。

怪しい電話がかかってきたらどう対応したらいいのか、一人で留守番しているのではないと伝えることがポイント、長引くようだったら「忙しいので失礼します」。

説明を聞いた上でさあ実習、電話が鳴り、マイクを通して聞こえてくる犯人役の声にも皆興味津々でしたが、しっかりと練習できました。

お留守番で気を付けることは、語呂合わせで「い・い・ゆ・だ・な」、毎日お風呂に入るたびに思い出してくれることでしょう。

最後には、犯人役も登場、実は城西支社の警備課長沖本さんでした。とても楽しく勉強することができたようですね。